



工房だより

～ペットのための自然食キッチンから～

2025 年 6 月号
vol.85



今月の一枚

左右
むぎちゃん
まろくん

2歳1ヶ月
2歳7ヶ月
（撮影時）
バグ



ドッグフード工房さんの定期購入を始めて十月で三年になります。
イビキをかいて寝ていても、腹時計が正確で、そろそろの時間にはお座りして待機しています。
ご飯の時間が待ち遠しいまろむぎです。これから、お世話になります。

ワンちゃんのお写真募集中！

メールにて、どんなワンちゃんか一言添えてお送りください。

採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。

info@petfood-kitchen.co.jp



フォローして

ワンちゃん情報やキャンペー

ン情報をチェック!!



工房スタッフのつぶやき

カスタマーコンシェルジュ 佐野

紫陽花が色づき始め、季節の移りを感じる頃。愛猫もいつの間にか、窓辺の陽だまりから、ひんやりした床で寝るようになり、静かに夏が近づいているのだと気づかされます。

お客様窓口にも、季節を感じるお声が届き始めました。梅雨時期は、湿度や気圧の変化でワンちゃんの食欲が落ちることが多く、「最近ごはんを食べてくれなくて…」といったご相談をいただきます。

そんな時には、フードをふやかして与える方法や、ふりかけなどのトッピングの工夫をご紹介させていただいています。愛犬の「いつも通り」を支える、ちょっとしたひと工夫。よく食べるようになったと嬉しいお声をいただき一緒にうれしくなっています。



七夕感謝祭のお知らせ

期間：7月7日（月）～ 13日（日）

日頃の感謝を込めて、できた定期便をご愛顧いただいているお客様限定企画です。

ドッグフード工房の無添加おやつを特別価格にて販売いたします。

詳細は6月中旬にお知らせ欄やInstagramなどでご案内いたします。

お見逃しなく!! ご不明な点などございましたらお客様窓口までお問い合わせください。

フリーダイヤル：0120-634-436

営業時間：10時～17時半（日祝お休み）

獣医さんの相談窓口

「できたて定期便」ご利用のお客様を対象に、相談窓口をご用意しております。

フードや食事についてお悩み事などがございましたら、お気軽にご相談ください。獣医師監修のもと、後日メールにて回答させていただきます。



わんちゃんと旬を楽しむ

第三回 枝豆

おかずにひと工夫して、愛犬も一緒に楽しめるレシピのご提案です。

カツオと枝豆のお豆腐つくね



枝豆は、未成熟な大豆を収穫したもので、野菜と豆の良いところ取りをした栄養豊富な食材。大豆には、ほとんど含まれないビタミンCや葉酸を多く含みます。大豆と同様「畑の肉」と呼ばれるほど良質な栄養素を豊富に含んでいます。

材料：ドッグフード工房・絹豆腐・枝豆・カツオ（or 鶏むねひき肉でもOK） 米粉・水菜・ミニトマト

例：3才6kg、1日2回の1食分
ドッグフード工房は、いつもの量より1〜1.5割ほど減らしてください。

ドッグフード工房 40g・絹豆腐 70g
枝豆 10g = 15粒ぐらい・
カツオ 30g・米粉 6g・水菜 6g・
ミニトマト 1個



作り方：

- 1.カツオのお刺身を包丁で細かく叩き、枝豆は指で潰せるくらいの硬さに茹でておきます。
- 2.しっかりと水切りした絹豆腐・カツオ・枝豆・ドッグフード工房・米粉を混ぜ合わせる。
(生地が緩い場合は米粉で調整します)
- 3.フライパンの上で適当に分け、丸く形を整えながら弱火で焼きます。
- 4.しっかりと火が通ったら、よく冷まして水菜とミニトマトを飾って完成!!



ドッグフード工房は、毎朝近所のお豆腐工場から届く、できたてのおからを使用して作ります。おからも枝豆もお豆腐も：様々な栄養を豊富に含んでいる大豆。

食物繊維もたっぷり、腸内環境もバッチリ。パパのおつまみ用には、フードの代わりにカツオとお豆腐と枝豆を増量してください。

Instagramで動画配信も行っています。

レシピ提案／撮影：yamashita_rei



こう雨がずっと、さすがに家の中で遊ぶのも飽きてきて、そろそろストレスが…。そんな週末に、工さんが房さんに室内ドッグランへ行こうと提案しました。室内のドッグランなんてあるの?と半信半疑で聞き返しました。工さんはちよつと得意げにスマホを片手に「近くだとココと、ココ。ちよつと遠出するなら…」を見せてくれました。これは願ってもないことと、房さんは大賛成。さっそく明日、初めての室内ドッグランへ出かけることに。



Chap56: ドッグランデビュー

「でも初めてだし、ちよつと心配ね」と房さんがポツリ。工さんは「大丈夫、いくつかに注意するだけで安心だよ」と微笑みました。まず、ワクチン証明書は必須。施設によつては入場時に提示を求められるので忘れずに持参。また、ノミ・ダニ予防を済ませておくことも基本。現地に着いたら、いきなりノーリードにせず、まずはリードを付けたまま場の様子を見ることがポイント。怖がりな子や初対面の犬に緊張する子も多いので、無理に近づけないよう注意が必要。そして何より、ワンちゃんから目を離さないこと。他の犬と楽しく遊んでいるように見えても、ふとしたきっかけでトラブルになることもあるとのこと。

また、帰宅後のケアまでがワンセットなので、足拭きやブラッシングもしなくちゃねと2人は話しながら、新しいチャレンジに胸を弾ませていました。

